

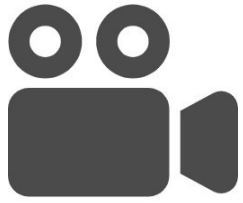
ii) 課題となる行動の確認

課題となる行動の表出

お出かけが気になって、田中さんはなかなか作業ができません。

田中さんに作業をしてもらうために、職員も懸命に働きかけています。

ある時、お出かけが気になる田中さんを職員が制止しようとする、田中さんは大きな声をあげて飛び跳ねながら自分の顔を叩いてしまいました。



動画の視聴

行動チェックシート の追加

行動チェックシート

ワークシート③

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	支援者が話しかけても支援者の方を向かない 支援者が作業をするようにはたらかけても動かない、水道へに行く、「お出かけ」と言って歩き出す
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	✓	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	支援者が「作業をしましょう」と言っても座っている 支援者が「作業をしましょう」と言うと水道へに行く 「作業をしましょう」と言われて「作業」と繰り返す 「お出かけ」と言って立ちあがる、歩きだす 「お出かけ」という言葉だけで自分の気持ちを伝えようとしている
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）	✓	
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	✓	
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		部屋に入るとイスに座ってじっとしている
		チ: 自分から動くことができない	✓	
		ツ: 予定の変更で混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	✓	
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	常に耳をふさいでいる キラキラした刺激が好き（基本情報より） 水道の水を長時間触っている
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

行動チェックシートの追加

行動チェックシート

記入例

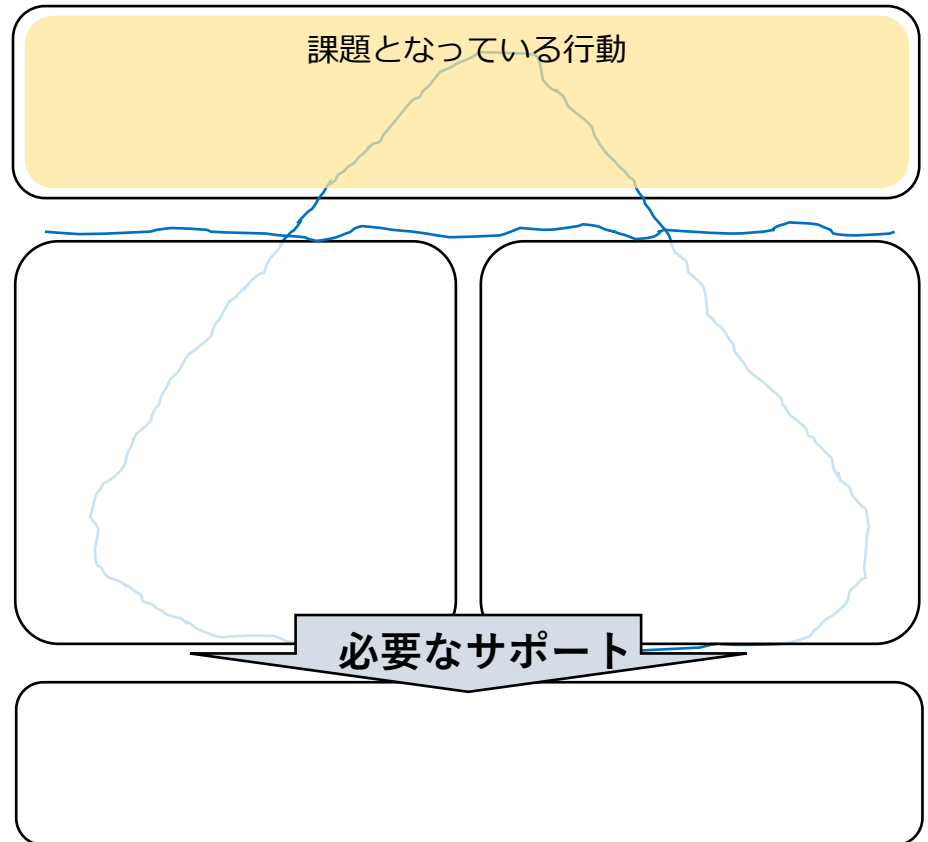
		例	✓	本人の具体的な行動
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	支援者が「作業をしましょう」と言っても座っている
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	支援者が「作業をしましょう」と言うと水遊びに行く
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）	✓	「作業をしましょう」と言われて「作業」と繰り返す
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	「お出かけ」と言って立ちあがる、歩きだす 支援者から止められて作業中に自傷をする
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	✓	「お出かけ」という言葉だけで自分の気持ちを伝えようとしている
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		

「行動チェックシート」の中から課題となっている行動を確認します

ワークシート③「行動チェックシート」

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない		
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない		
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする		
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコリア）		
	発音が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす		
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
やりとりが難しい	ス: やりとりが噛み合わない			
	セ: やりとりが続かない			
	ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある			
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにクワクワしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない		
		ツ: 予定の変更で混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えるで混乱することが多い		
		ト: 目標が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある			
	ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない			
	ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある			
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を犬音・鳥にする、などの行動がある		
		ハ: 乾しががる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある		
		ヒ: 特定の触覚に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある		
		フ: 辛い・痛い・暑い・寒い、刺激の強い味を好み、同じものばかりを食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嫌がる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッピングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

ワークシート②「冰山モデルシート」



行動チェックシート

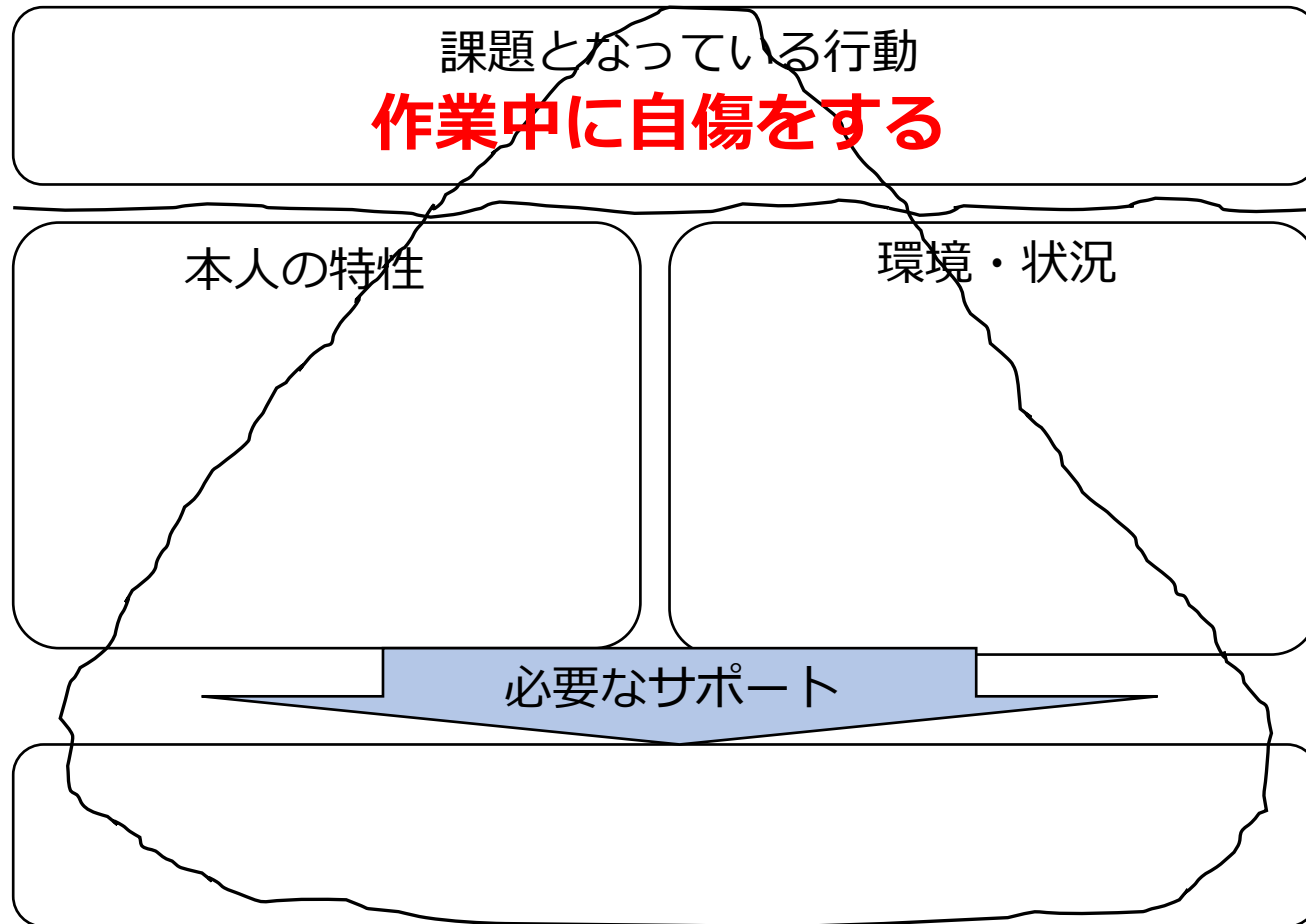
ワークシート③

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	支援者が話しかけても支援者の方を向かない 支援者が作業をするようにはたらかけても動かない、水遊びに行く、「お出かけ」と言って歩き出す
		イ: 人との関わりが一面的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	✓	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	支援者が「作業をしましょう」と言っても座っている 支援者が「作業をしましょう」と言うとき水遊びに行く 「作業をしましょう」と言われて「作業」と繰り返す 「お出かけ」と言って立ちあがる、歩きたす支援者から止められて作業中に自傷をする 「お出かけ」という言葉だけで自分の気持ちを伝えようとしている
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）	✓	
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
	やりとりが難しい	シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	✓	
		ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		部屋に入るとイスに座ってじっとしている
		チ: 自分から動くことができない	✓	
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	✓	
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
	感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	
ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある			✓	
ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある			✓	
フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好み、同じものばかり食べる、など行動がある				
ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある				
ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある				

「お出かけ」と言って立ち上がる、歩き出す、支援者から止められて
作業中に自傷をする

今回は、この行動に対応する支援手順書を作っていきます。

冰山モデルを使って田中さんの行動を整理します。



課題となっている行動

1. 自分自身の生命あるいは健康に著しい危険を与える行動
2. 周囲の人あるいは状況に著しい危険ないし混乱を与える行動
3. 自分自身の意味ある活動への参加や学習を著しく妨げる行動

以上3つの条件のうち少なくともひとつに該当する行動と言われる。

参考文献『発達障害児の問題行動その理解と対応マニュアル』志賀利一

1. 自分自身の生命あるいは健康に著しい危険を与える行動
→自傷で田中さんがケガをするかもしれない
2. 周囲の人あるいは状況に著しい危険ないし混乱を与える行動
→大声を聞いた他の利用者が恐怖を感じるかもしれない
→支援者も恐怖を感じるかもしれない
3. 自分自身の意味ある活動への参加や学習を著しく妨げる行動
→作業ができなくなるかもしれない

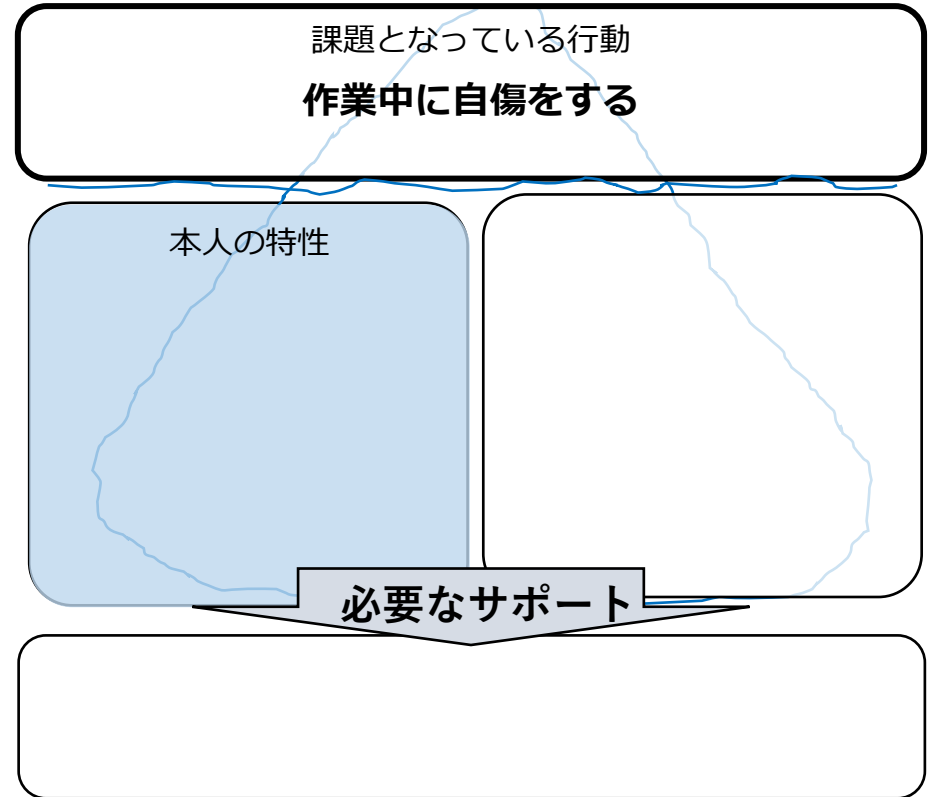
iii) 本人の特性を整理する

「特性確認シート」を使って本人の特性を整理します

ワークシート④「特性確認シート」

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 』		背景となる特性	支援のアイデア	
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	A) 汲み取ってもらう、察してもらうではなく、具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点)	
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい		
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい		
		4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い		
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい		
社会性	状況の理解が難しい	6) 見えないものの理解が難しい	C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える(方法の視点・やりとりの視点)	
		7) 話し言葉の理解が難しい	D) 本人が理解できる見える情報(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)で伝える(やりとりの視点・見え方の視点)	
		8) 一度にたくさんのことを理解するのが難しい		
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい		
		10) 話し言葉で伝えることが難しい		
11) どのようにして伝えたらいいかわからない				
コミュニケーション	発信が難しい	12) 誰に伝えていいかわからない	E) 本人が発信しやすいツールを(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)提供する(やりとりの視点・見え方の視点)	
		13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい		
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい		
		15) やりとりの量が多いと処理が難しい		
		16) 段取りを適切に組むことが難しい		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える(時間の視点) H) 始まりや終わりをわかりやすいようにする(時間の視点・場所の視点)	
		18) 今やることを自分で判断することが難しい		
		19) 先の予測をすることが難しい		
		20) 臨機応変に判断することが難しい		
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい		
想像力	変化への対応が難しい	22) 興味関心が狭くて強い	I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする(方法の視点) J) 最初から正しい方法で行うことができるようにする(方法の視点)	
		23) 細部が気になり違いに敏感		
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる		
		25) 聴覚の過敏や鈍麻がある		K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする(場所の視点) L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する(場所の視点)
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある		
27) 触覚の過敏や鈍麻がある				
28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある				
29) 味覚の過敏や鈍麻がある				
感覚	30) 前庭覚の特有の感覚がある			

ワークシート②「冰山モデルシート」



特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷する 』			
	背景となる特性	支援のアイデア	
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い <input checked="" type="checkbox"/>	汲み取ってもらい、察してもらうではなく、具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える(方法の視点・やりとりの視点)
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	
		6) 見えないものの理解が難しい	
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	D) 本人が理解できる見える情報(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)で伝える(やりとりの視点・見え方の視点) E) 本人が発信しやすいツールを(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)提供する(やりとりの視点・見え方の視点) F) 視覚的なツールでやりとりができるようにする(やりとりの視点・見え方の視点)
		8) 一度にたくさんのかことを理解するのが難しい	
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい	
		11) どのようにして伝えたいかわからない	
		12) 誰に伝えていいかわからない	
	やりとりが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい	
		15) やりとりの量が多いと処理が難しい	
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える(時間の視点) H) 始まりや終わりをわかりやすいようにする(時間の視点・場所の視点) I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする(方法の視点) J) 最初から正しい方法で行うことができるようにする(方法の視点)
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい	
		20) 臨機応変に判断することが難しい	
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い	
		23) 細部が気になり違いに敏感	
24) 少しの違いで大きな不安を感じる			
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする(場所の視点) L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する(場所の視点)
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	

田中さんが作業中に自傷をする理由を考えます

個人ワーク | 本人の特性を整理する

1. ワークシート④「特性確認シート」で「作業中に自傷をする」に関係する特性をピックアップします。
2. ワークシート②「冰山モデルシート」の本人の特性の欄に転記します。

田中さんが作業中に自傷をする背景と考えられる特性にチェックを入れてみましょう

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷をする 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	汲み取ってもらう、察してもらうではなく、 A) 具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) C) ように伝える(方法の視点・やりとりの視点)
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	
		6) 見えないものの理解が難しい	

＜次のような仮説を立てながらチェックを入れます。＞

「相手への関心が薄い」**ので**、
 「支援者の指示に注目しにくかった」**かもしれない**。

背景となる特性をチェックするにあたって、次のような仮説を立てて説明できるようにしてください。

(背景となる特性)

(本人の具体的な行動)

「 」ので、「 」かもしれない。

「 」ので、「 」かもしれない。

「 」ので、「 」かもしれない。

田中さんが作業中に自傷をする背景と考えられる特性にチェックを入れてみましょう

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動） 『 作業中に自傷する 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	D) 本人が理解できる見える情報（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）で伝える（やりとりの視点・見え方の視点） E) 本人が発信しやすいツールを（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）提供する（やりとりの視点・見え方の視点） F) 視覚的なツールでやりとりができるようにする（やりとりの視点・見え方の視点）
		8) 一度にたくさんのことを理解するのが難しい	
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい	
		11) どのようにして伝えたらいいかわからない	
		12) 誰に伝えていいかわからない	
	やりとりが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい	
		15) やりとりの量が多いと処理が難しい	

背景となる特性をチェックするにあたって、次のような仮説を立てて説明できるようにしてください。

(背景となる特性)

(本人の具体的な行動)

「
」ので、「
」かもしれない。

「
」ので、「
」かもしれない。

「
」ので、「
」かもしれない。

田中さんが作業中に自傷をする背景と考えられる特性にチェックを入れてみましょう

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷をする 』

		背景となる特性	支援のアイデア
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える (時間の視点)
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい	H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする (時間の視点・場所の視点)
		20) 臨機応変に判断することが難しい	
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い	I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする (方法の視点)
		23) 細部が気になり違いに敏感	
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる	

背景となる特性をチェックするにあたって、次のような仮説を立てて説明できるようにしてください。

(背景となる特性)

(本人の具体的な行動)

「」ので、「」かもしれない。

「」ので、「」かもしれない。

「」ので、「」かもしれない。

田中さんが作業中に自傷をする背景と考えられる特性にチェックを入れてみましょう

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷をする 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
感 覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする (場所の視点)
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する (場所の視点)
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	

背景となる特性をチェックするにあたって、次のような仮説を立てて説明できるようにしてください。

(背景となる特性)

(本人の具体的な行動)

「」ので、「」かもしれない。

「」ので、「」かもしれない。

「」ので、「」かもしれない。

グループワーク | 本人の特性を整理する

1. 司会・記録・発表を決めます
2. 「作業中に自傷をする」に関する特性をグループで共有します

※ワークシート⑦「冰山モデルシート(グループ用)」に記入

記入例

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷をする 』

		背景となる特性		支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	✓	A) 汲み取ってもらう、察してもらうではなく、具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える(方法の視点・やりとりの視点)
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	✓	
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい		
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い		
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい		
		6) 見えないものの理解が難しい	✓	

記入例

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動） 『 作業中に自傷する 』

		背景となる特性		支援のアイデア
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	✓	D) 本人が理解できる見える情報（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）で伝える（やりとりの視点・見え方の視点） E) 本人が発信しやすいツールを（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）提供する（やりとりの視点・見え方の視点） F) 視覚的なツールでやりとりができるようにする（やりとりの視点・見え方の視点）
		8) 一度にたくさんのかを理解するのが難しい		
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい		
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい		
		11) どのようにして伝えたいか分からない	✓	
		12) 誰に伝えていいか分からない		
	やりとりが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい		
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい		
		15) やりとりの量が多いと処理が難しい		

記入例

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷をする 』

		背景となる特性		支援のアイデア
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	✓	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える (時間の視点)
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい		
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	✓	
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい		H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする (時間の視点・場所の視点)
		20) 臨機応変に判断することが難しい		
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい		
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い	✓	I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする (方法の視点)
		23) 細部が気になり違いに敏感		
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる		

記入例

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷をする 』				
		背景となる特性		支援のアイデア
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	✓	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする（場所の視点） L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する（場所の視点）
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある		
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある		
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある		
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある		
		30) 前庭覚の特有の感覚がある		

「特性を把握する」という視点

- 個別の「障害特性」に対して周囲の「環境要因」がミスマッチな場合に、その環境に対しての不適応行動が生じることがあります
- 本人は困らせている人ではなく、困っている人という視点が重要です
- 個別の困り感に対する合理的配慮が支援の基本となります
- その場合の合理的配慮は、特性に基づいた支援のアイデアを活用することがスタンダードとなっています

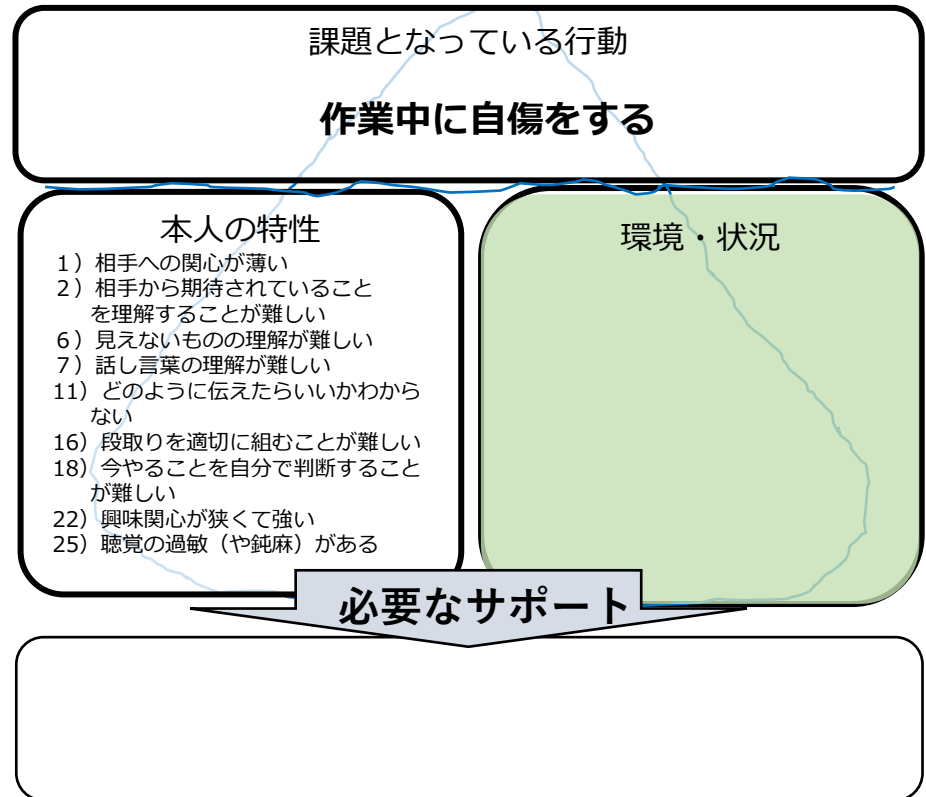
iv) 行動が現れている環境
や状況を整理する

「環境確認シート」を使って行動が現れている環境や状況を整理します

ワークシート⑤「環境確認シート」

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（言葉・指差し・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物がありますか 見ると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていませんか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感覚などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうなったら終わるのかなど）は理解できていますか その他	
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものです	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものです	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	

ワークシート②「冰山モデルシート」



次のような項目を確認しながら、田中さんの行動に関わりがありそうな具体的な環境を記入します

環境確認シート

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（言葉・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物がありますか 見ると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうなったら終わるのかなど）は理解できていますか その他	

次のような項目を確認しながら、田中さんの行動に関わりがありそうな具体的な環境を記入します

環境確認シート

項目	環境確認の視点	具体的な環境
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものですか	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものですか	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	

個人ワーク | 環境や状況を整理する

1. ワークシート⑤「環境確認シート」で
「作業中に自傷をする」ときの環境や状況
を書き出します。
2. ワークシート②「冰山モデルシート」の
環境・状況の欄に転記します。

グループワーク | 環境や状況を整理する

1. 「作業中に自傷をする」ときの環境や状況をグループで共有します

※ワークシート⑦「冰山モデルシート（グループ用）」に記入

記入例

環境確認シート

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（言葉・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	支援者は言葉で指示を出している
物	見ると勘違いするような物がありますか 見ると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	作業の道具が準備されていない
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	近くに水遊びができる場所がある
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうしたら終わるのかなど）は理解できていますか その他	今何をしたらいいかはっきりわかりにくい いつお出かけに行くのかわかりにくい

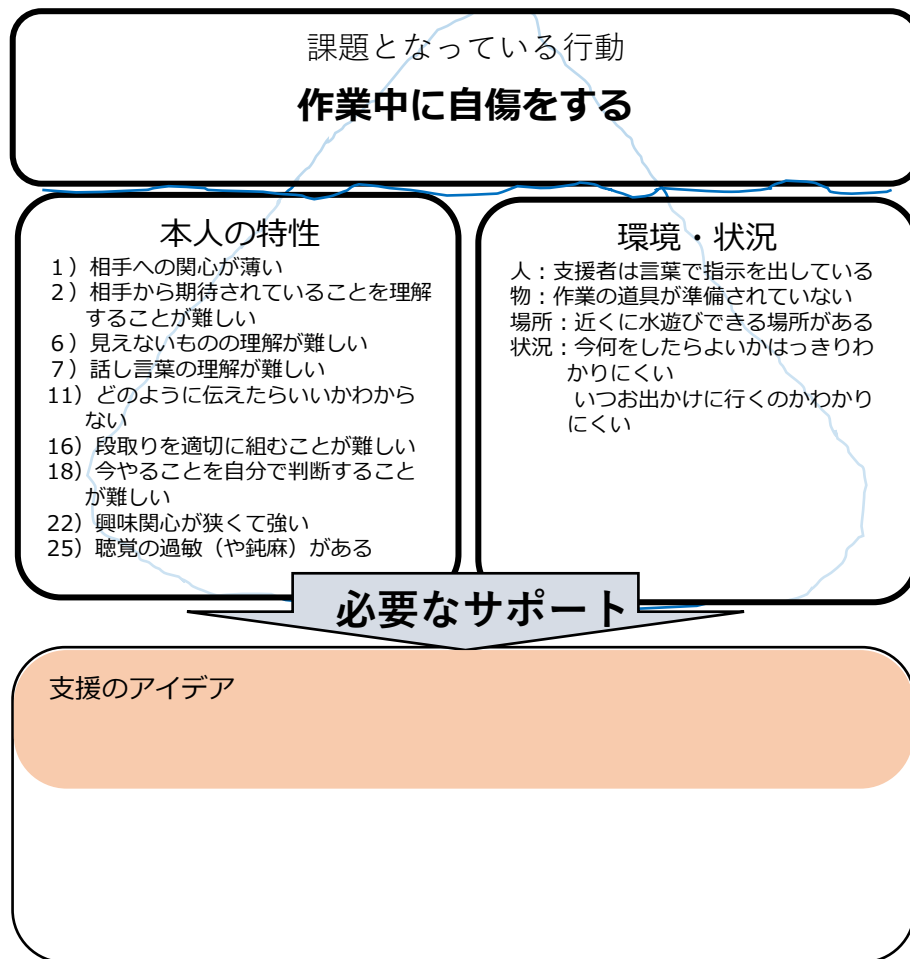
V) 必要なサポートを整理する

必要なサポートを「特性確認シート」の「支援のアイデア」を使って整理します

ワークシート④「特性確認シート」

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 』		
	背景となる特性	支援のアイデア
社会性 人や集団との関係に難しさがある 状況の理解が難しい	1) 相手への関心が薄い	A) 汲み取ってもらう、察してもらうではなく、具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える(方法の視点・やりとりの視点)
	2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	
	3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	
	5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	
	6) 見えないものの理解が難しい	
コミュニケーション 理解が難しい 発信が難しい やりとりが難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	D) 本人が理解できる見える情報（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）で伝える（やりとりの視点・見え方の視点） E) 本人が発信しやすいツールを（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）提供する（やりとりの視点・見え方の視点） F) 視覚的なツールでやりとりができるようにする（やりとりの視点・見え方の視点）
	8) 一度にたくさんあることを理解するのが難しい	
	9) 抽象的であまり表現の理解が難しい	
	10) 話し言葉で伝えることが難しい	
	11) どのようにして伝えたいかわからない	
	12) 誰に伝えていいかわからない	
想像力 自分で予定を立てることが難しい 変化への対応が難しい 物の一部に対する強い興味	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える（時間の視点） H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする（時間の視点・場所の視点） I) 活動に興味や目的を持つことができる工夫をする（方法の視点） J) 最初から正しい方法で行うことができるようにする（方法の視点）
	14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい	
	15) やりとりの量が多いと処理が難しい	
	16) 段取りを適切に組むことが難しい	
	17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	
	18) 今やることを自分で判断することが難しい	
感覚 感覚が敏感または鈍感	19) 先の予測をすることが難しい	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする（場所の視点） L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する（場所の視点）
	20) 臨機応変に判断することが難しい	
	21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
	22) 興味関心が狭くて強い	
	23) 細部が気になり違いに敏感	
	24) 少しの違いで大きな不安を感じる	
25) 聴覚の過敏や鈍麻がある		
26) 視覚の過敏や鈍麻がある		
27) 触覚の過敏や鈍麻がある		
28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある		
29) 味覚の過敏や鈍麻がある		
30) 前庭覚の特有の感覚がある		

ワークシート②「冰山モデルシート」



田中さんの行動の背景となる特性に対応した支援のアイデアをピックアップします。

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 』			
	背景となる特性	支援のアイデア	
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	A) 汲み取ってもらう、察してもらうではなく、具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える(方法の視点・やりとりの視点) D) 本人が理解できる見える情報(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)で伝える(やりとりの視点・見え方の視点)
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	
		6) 見えないうもの理解が難しい	
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	E) 本人が発信しやすいツールを(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)提供する(やりとりの視点・見え方の視点) F) 視覚的なツールでやりとりができるようにする(やりとりの視点・見え方の視点)
		8) 一度にたくさんのごことを理解するのが難しい	
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい	
		11) どのようにして伝えたいかわからない	
		12) 誰に伝えていいかわからない	
	やりとりが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい	
		15) やりとりの量が多いと処理が難しい	
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える(時間の視点) H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする(時間の視点・場所の視点) I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする(方法の視点) J) 最初から正しい方法で行うことができるようにする(方法の視点)
		17) なんとなく、たいたいなどのイメージを持ちにくい	
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい	
		20) 臨機応変に判断することが難しい	
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い	
		23) 細部が気になり違いに敏感	
24) 少しの違いで大きな不安を感じる			
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする(場所の視点) L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する(場所の視点)
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	

個人ワーク | 支援のアイデアを整理する

1. ワークシート④「特性確認シート」で
「作業中に自傷をする」背景となる特性に対応する支援のアイデアをピックアップします。
2. ワークシート②「冰山モデルシート」の支援のアイデアの欄に転記します。

グループワーク | 支援のアイデアを整理する

1. 「作業中に自傷をする」に関係する特性に対応する支援のアイデアをグループで共有します
※ワークシート⑦「冰山モデルシート（グループ用）」に記入

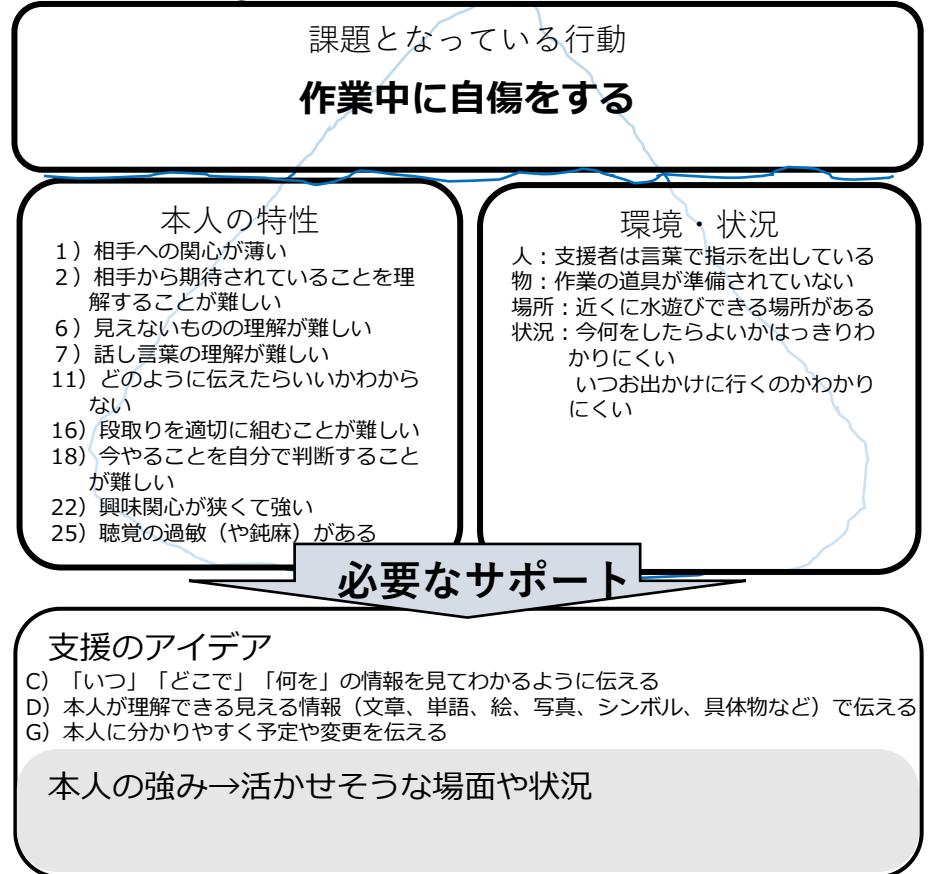
さらに「強み（ストレングス）確認シート」 を使って具体化します

ワークシート⑥

強み（ストレングス）確認シート

本人の強み（ストレングス）	活かせる場面や状況
<p>わかること・できること</p> <p>例) なくはたらき終わり、ペットボトルのふたを開ける ハサミを使うのが上手 など</p>	
<p>好きなこと（遊び方、過ごし方、キャラクターなど） やりたがること</p> <p>例) ハンモグで揺れる ○○のキャラクター ヒックリはまる 色を合わせる</p>	
<p>得意なこと（これには助けられているなど） 見方を変えれば得意が もしれないこと</p> <p>例) 目的がわかれば待つことができる 変更は苦手だがいつもと同じことはできる</p>	
<p>その他</p>	

ワークシート② 冰山モデルシート



「強み」(ストレングス)とは

支援をするときに活かせそうな、本人の能力や環境

※ストレングスモデル

その人が元来持っている強さに注目し、それを引き出して活用していこうとする考え方

障害特性も「リフレーミング」により強みになる場合もある。

(参考) リフレーミング

ある枠組み（フレーム）で捉えられている物事を、
枠組みをはずして違う枠組みで見ること

今までの考えとは「解釈を変える・視点を変える」

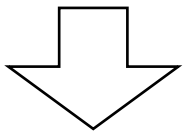
「違った角度からアプローチする」ことにより、誰もが潜在的に持っている能力を使って、意図的に自分や相手の生き方を健全なものにし、ポジティブなものにしていく。

リフレーミングの例

「水をどのくらい飲めましたか？」

【ポジティブ】

半分も飲めている

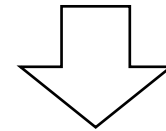


「あと少しで飲み終わりますね。」
「頑張ってますね。」



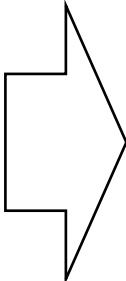
【ネガティブ】

半分しか飲めていない



「全然飲めていないですね。」
「早く飲んでくださいよ。」

リフレーミングの例

- 動作が遅い
 - 大雑把
 - 頑固、融通がきかない
 - 気が散りやすい
 - 自己中心的
 - 心配性
 - 自分勝手
 - 作業が雑
 - 集団で行動できない
 - 飽きっぽい
 - しつこい
 - 人に流されやすい
- 
- 一つ一つ丁寧にできる
 - 小さいことが気にならない
 - 強い意志を持っている
 - 好奇心旺盛
 - 自分のことを大切にできる
 - 先のことを予測できる
 - 主体的に行動できる
 - 大まかなことはできる
 - 1人で行動できる
 - 気持ちの切り替えが早い
 - ねばり強い
 - 状況把握ができています

リフレーミングの考え方の大切さ

リフレーミングは、問題、課題への対応方法を考えるときに用いることが多い。

問題・課題解決において

- ① 「できない理由」ではなく「どうやったらできるか」を考えるようになる
- ② その人自身を変えようとするのではなく、環境、支援方法を変えるようになる
- ③ ピンチをチャンスに変える思考習慣が身につく

本人の強み（ストレングス）と活かせそうな場面や状況を書き出します

強み（ストレングス）確認シート

本人の強み（ストレングス）	活かせそうな場面や状況
<p>わかること・できること 例) なくなったら終わり、ペットボトルのふたを開ける ハサミを使うのが上手 など</p>	
<p>好きなこと（遊び方、過ごし方、キャラクターなど） やりたがること 例) ハンモックで揺れる ○○のキャラクター ビックリはまる 色を合わせる</p>	
<p>得意なこと（これには助けられているなど）見方を変えれば得意かもしれないこと 例) 目的がわかれば待つことができる 変更は苦手だがいつもと同じことはできる</p>	
<p>その他</p>	

個人ワーク | 強み（ストレングス）を整理する

1. ワークシート⑥「強み(ストレングス)確認シート」
で、本人の強み（ストレングス）と活かせそうな場面や状況を書き出します。
2. ワークシート②「冰山モデルシート」の本人の強み
→活かせそうな場面や状況の欄に転記します。

グループワーク | 強み（ストレングス）を整理する

1. 本人の強み（ストレングス）と活かせそうな場面や状況 をグループで共有します

※ワークシート⑦「冰山モデルシート（グループ用）」に記入

記入の仕方

本人の強み（ストレングス） →活かせそうな場面や状況

発 表

1. 記入した氷山モデルの内容を発表します

課題となっている行動

作業中に自傷をする

(本人の特性)

- 1) 相手への関心が薄い
- 2) 相手から期待される行動を理解することが難しい
- 6) 見えないものの理解が難しい
- 7) 話し言葉の理解が難しい
- 11) どのようにして伝えたらいいかわからない
- 16) 段取りを適切に組むことが難しい
- 18) 今やることを自分で判断することが難しい
- 22) 興味関心が狭くて強い
- 25) 聴覚の過敏（鈍麻）がある

(環境・状況)

人：支援者は言葉で指示を出している
 物：作業の道具が準備されていない
 場所：近くに水遊びができる場所がある
 状況：今何をしたらいいかわかりにくい
 状況：いつお出かけに行くのかわかりにくい

必要なサポート

(支援のアイデア)

- C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える
- D) 本人が理解できる見える情報（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）で伝える
- G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える

(本人の強み→活かせるような場面や状況)

- ・作業の机に座ることができる → ・やることを分かりやすくすれば座って作業ができないか
- ・同じマークを見ると重ねることができる → ・活動を伝えるときにマークを活用できないか
- ・キラキラするものが好き → ・好きな活動を楽しみに他の活動に取り組むことができないか

まとめの講義

1. 強度行動障害が現れている方への支援は、アセスメントに基づいた本人の障害特性を理解して、根拠のある支援を組み立てることが基本です。
2. アセスメントは、本人の障害特性だけでなく、環境や状況も含めて行うことが重要です。